

① 名称類似に関する事例

注意を要する名称類似医薬品の組み合わせ

ヒヤリ・ハット事例のうち、名称類似に関する「薬剤取違い」の事例が211件報告されています（集計期間：2015年1月1日～12月31日）。このうち、主な薬効の異なる組み合わせ及び成分の異なるハイリスク薬を含む組み合わせは特に注意が必要です。2014年に引き続き2015年にも報告された注意を要する「名称類似医薬品」の組み合わせを以下に示します。

医薬品名（主な薬効）	医薬品名（主な薬効）
アスパラ カリウム 無機質製剤	アスパラ ーC A カルシウム剤
アテレック 血圧降下剤	アレロック その他のアレルギー用薬
クラリス 主としてグラム陽性菌，マイコプラズマに作用するもの	クラリチン その他のアレルギー用薬
ノイロ トロピン 解熱鎮痛消炎剤	ノイロ ビタン 混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）
ノボラ ピッド その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。） （ハイリスク薬）	ノボリ ン その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。） （ハイリスク薬）
ムコ スタ 消化性潰瘍用剤	ムコ ダイン 去たん剤
ユベラ ビタミンE剤	ユベラ N その他の循環器官用薬

- ※1 「主な薬効」とは、その医薬品の個別医薬品コード先頭3桁の医薬品分類を示す。
- ※2 「名称類似医薬品」とは、頭文字が2文字以上一致している医薬品の組み合わせ、もしくはそれ以外で報告事例に名称が類似していることにより取違えたことが記載されている医薬品の組み合わせとした。
- ※3 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業平成27年年報 108頁 図表1-6、111頁 図表1-11、113頁 図表1-16を改変

